

【様式7】

会 議 録

会議の名称	第3回 かば桜学園（石戸小・西中）学校運営協議会	
開催日時	令和3年10月26日（火）	
開催場所	北本市立石戸小学校 会議室	
出席者氏名	山岸栄治委員、早川聡子委員、奥山美穂委員、小澤理恵委員、醍醐 隆委員、小川喬司委員、吉澤達也委員、坂口 修委員	
欠席者氏名	林信好委員、山内文健委員	
傍聴者	0名	
議題	<p>(1) 本学園の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種学力・学習状況調査等の分析からみえる本学園の学力 ・Hyper-QU・アセス等からみえる教育相談 <p>(2) 学校評価について</p> <p>(3) 各校の児童・生徒の生活の様子について</p>	
協議等 要 旨	協議結果	意見の概要
	(1) 「各種学力・学習状況調査」「Hyper-QU」の結果と課題・手立てについて説明し、学園の現状について理解を得た。	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方の形態が変化し、人とのコミュニケーションの取り方が問題になってくる。大人になると人との関わりはととも重要。グループでの発表や人との関わりスキルを身につけさせる取組は続けて欲しい。 ・生活と学力に相関があると言うが、現状はどうか。→全体としては落ち着いている。点数の振るわない学年も「伸び」は見られる。 ・関わり合いのスキルにどんな課題があり、どう伸ばしていくのか。→自分の気持ちの表現の仕方に課題。学活を活用し、いつどんなことを学ばせるか系統的に計画し取り組んでいく。
	(2) 「学校評価」実施の時期と手順について説明し、承認を得た。	
	(3) 協議開始前に各学年の授業参観を行い、児童の学習の様子を見てもらった。また、写真資料により、「児童生徒の活動の様子」「PTA活動」「学校応援団」「地域の協力」について紹介した。	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットや大型モニターが有効に活用され、児童は集中して授業を受けていた。 ・ICT機器の活用は有効だが、それだけに偏らず、いろいろな体験をさせることも大切。実践としての生きる力や想像力を身につけさせて欲しい。
配付資料	<p>(1) 第3回かば桜学園学校運営協議会資料</p> <p>(2) 学力・学習状況調査結果、Hyper-QUの調査結果→会議終了後回収</p> <p>(3) 児童・生徒の活動の様子について</p>	

